

新潟医療福祉大学心理健康学科 来年4月開設

探究心育む学びの場

新潟医療福祉大学(新潟市北区)は2024年4月、「心理健康学科」を開設する。「基礎」「臨床」「運動」の心理学の3領域を総合的に学べる全国でも数少ない学科で、心理学の専門職育成だけでなく、幅広い人材の輩出に期待が高まる。新潟県産業労働部の金井健一部長、新潟三越伊勢丹

視点2023

の和泉敦志総務・人事担当部長、同大学の山本裕二・心理健康学科設置準備室長(学科長就任予定)が、地域や企業に求められる人材の在り方や卒業後の活躍の場について産官学の視点から語り合った。聞き手は、大塚清一郎・新潟日報社総合プロデュース室長。(文中敬称略)

新潟県産業労働部長 金井 健一氏

新潟三越伊勢丹 総務・人事担当部長 和泉 敦志氏

新潟医療福祉大学 心理健康学科設置準備室長 山本 裕二氏

鼎談出席者



「心理健康学科」の特徴や期待感について語り合った新潟県産官学連携の金井健一部長(中央)、新潟三越伊勢丹の和泉敦志部長(右)、新潟医療福祉大学の山本裕二室長

一新学科の特徴を聞かせてください。

山本 心理健康学科では生物としてのヒトを解き明かす「基礎心理」、社会の中で人を理解する「臨床心理」、心と身体の動きから人間を捉える「運動心理」という3つの領域を一つの学科で学ぶことができます。各領域を個々に学ぶ大学はありますが、一つの学科にまとまっているのは、大変珍しいです。

国家資格を取得できるというメリットがあります。

山本 公認心理師を目指すことが可能です。ただ、資格を目指すだけでなく、心理学を通じて、幅広く人間を理解することができると。現代は、自分の知りたい情報だけを求める「確認バイアス」が広がっていますが、自分自身への傾向があることを知るの大切さ。そうすれば他者への理解は深まり、人と人をつなぐ仕事にも役立ちます。

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく

山本 「分かっていないことを覚える重ね合わせの理解」に対して、「分からないこと」に仮説を立て、検証していく



いずみ・あつし 1973年、佐渡市出身。神奈川大学法学部卒。97年、新潟伊勢丹に入社。販売戦略部長、営業戦略部長などを経て2023年4月から現職。

山本氏 基礎、臨床、運動 一体的に

山本 公認心理師を目指すことが可能です。ただ、資格を目指すだけでなく、心理学を通じて、幅広く人間を理解することができると。現代は、自分の知りたい情報だけを求める「確認バイアス」が広がっていますが、自分自身への傾向があることを知るの大切さ。そうすれば他者への理解は深まり、人と人をつなぐ仕事にも役立ちます。

和泉氏 ニーズに応じ行動変容

和泉 以前は強いリーダーが引く上意下達の組織であり、上司の指示を盲従する突破力のある人が優秀な人材でした。しかし、社会が多様化し、対話型の意思決定が浸透する中、上司や先輩に勝つ自分だけの意見で伝える人材が活躍の前提条件となつていきます。目標達成までのポイントを押さえ、自分で課題を設定する力が求められています。

金井氏 スキルアップに喜びも

金井 本県は1997年以降、26年連続で輸出超過となっています。2021年10月〜22年9月の社会動向は4779人のマイナス。進学や就職で若者が首都圏に流出したことが主な要因です。県内企業の有効求人倍率は1.57倍(23年8月)と全国3位。正社員の有効求人倍率は約3万人で29カ月連続で上がっています。1800社を対象に行なったアンケートでは、約54%が「従業員が不足している」と回答。40年の将来予測では、約6割の人手不足が見込まれています。



やまもと・ゆうじ 1958年、兵庫県出身。筑波大学大学院修了。名古屋大教授を経て2023年4月から現職。24年4月開設の心理健康学科の学科長に就任予定。日本スポーツ心理学会前会長。



かない・けんいち 1964年、南魚沼市出身。専修大文学部卒。88年、新潟県庁に入庁。産業政策課長、産業労働部副部長兼政策課長、知事政策局政策統括監などを経て2022年4月から現職。

和泉氏 多様な人材の育成急務 金井氏 求められる多角的視点 山本氏 しなやかな成長手助け

企業が求める人物像を聞かせてください。和泉 社会人となって、専門知識やビジネススキルをどれだけ高めても、困難や逆境から立ち直る力、レジリエンスがなければ心が折れ、退職につながることもあります。心と体の健康を維持できる状態を学生のうちからつくり、入社後もスムーズにいろいろなことを経験してもらえたいです。

山本 身体と心は非常に密接に関わっています。その中で自分で自分をコントロールするためには、自分への気づきが必要です。できないことを他人のせいにするのではなく、苦手を認めて、できない理由に気づくと人は変わります。

和泉 これまでの採用は、

和泉氏 多様な人材の育成急務

金井氏 求められる多角的視点

山本氏 しなやかな成長手助け

企画・制作/新潟日报社統合営業本部

心理・福祉学部

心理健康学科

2024年4月開設決定!

心理健康学科の学問領域

- 基礎心理領域
- 臨床心理領域
- 運動心理領域
- 理学療法
- 作業療法
- 言語聴覚
- 義肢装具
- 鍼灸
- 臨床検査
- 臨床工学
- 視能訓練
- 救急救命
- 診療放射線
- 栄養
- スポーツ
- トレーナー
- 看護
- 助産
- 保健
- 心理
- 福祉
- 介護
- 情報
- IT
- 医療
- 事務

ワンキャンパスでチーム医療を学ぶ、6学部15学科の医療系総合大学

「あたま」心理
「こころ」心理
「からだ」心理
をまるごと学べる

11月1日(水)〜出願受付開始!

入試情報はこちら

入試対策はこちら



新潟医療福祉大学

〒950-3198 新潟県新潟市北区島見町1398番地

TEL: 025-257-4459

E-mail: oc@nuhw.ac.jp

大学HPはこちら